

 東北の元気、日本の元気を青森から

# 平成 28 年度復興施策シート

---

八戸市復興計画推進市民委員会

## 4. 防災力の強化

八 戸 市

平成 28 年 7 月 8 日

## ○復興施策シート目次

### 4. 防災力の強化

- (1) 防災体制の強化…………… 1
- (2) 水・エネルギー対策の充実…………… 16
- (3) 災害に強い地域づくり…………… 22

## ○施策シートの見方

#### ・目指す姿：

復興計画の「第2 施策の基本方向」に基づき、当該項目について、特定の時点を定めず、将来的に「このようになっていたらよい」という姿を掲載しています。

#### ・市民アンケートにおける現状評価：

平成28年1～2月に実施した「市民アンケート」における各施策についての現状評価を点数化し、掲載しています（「十分満たされている」を4点、「まあまあ満たされている」を3点、「あまり満たされていない」を2点、「ほとんど満たされていない」を1点とし、当該回答者数（「判断できない」を除く。）で割った平均値で、4点満点。）。

平成28年市民アンケート調査結果報告書を参照してください。

#### ・施策の工程：

復興計画における当該施策の内容毎の工程表を掲載しています。

#### ・参考指標：

当該施策の動向を把握するのに参考となる指標を掲載しています。

※この指標をもって当該施策の達成度を測るものではありません。

#### ・主要事業：

当該施策を構成している、創造的復興プロジェクト等の主要な事業です。

【実施状況】は平成27年度(又は27年度迄)の実施状況、【今後の予定】は平成28年度以降の実施状況及び予定を記載しています。事業名に◆がついている事業は、創造的復興プロジェクト事業です。また、★印がついている事業は、八戸市総合計画の戦略プロジェクトにも位置づけられている事業です。さらに、事業名の隣に次の事業区分を記載しています。

完了…平成27年度に完了した事業

追加…策定時の復興計画に未登録で、今回追加した事業

#### ・事業費：

市が事業主体の事業について、平成27年度の決算（見込）額、平成28年度の予算額を記載しています。なお、決算（見込）額及び予算額には、繰越事業費分を含み、事業費には、人件費（事業費支弁以外）を含みません。

#### ・施策を取り巻く課題や論点：

意見を頂くための行政側からとらえた課題や論点です。意見を述べるにあたっての参考としてください。

1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化																																																																										
施策名	4 - ( 1 ) 防災体制の強化																																																																										
施策の概要	計画・体制	<p><b>目指す姿</b> 大震災の経験・教訓を生かし、市の地域防災計画の検証・見直しが進むなど、総合的かつ計画的な防災体制の強化が図られている。</p> <p><b>市民アンケートにおける現状評価</b> 【設問】避難道路や避難所の整備、避難所への物資の備蓄などにより、防災・減災対策の強化が図られている。 【点数】 2.6</p>																																																																									
	訓練・教育	<p><b>目指す姿</b> 平常時の防災訓練や防災教育、災害時における広報体制の強化や避難所等の整備により、災害に対する備えと災害応急体制が充実している。</p> <p><b>市民アンケートにおける現状評価</b> 【設問】小中学校での防災教育や地域での防災訓練などにより、市民の防災意識が高まり、地域における災害の備えが整っている。 【点数】 2.6 【設問】防災行政無線やほっとスルメール、コミュニティFM等により、災害時における広報体制が充実している。 【点数】 2.8</p>																																																																									
施策の工程																																																																											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr style="background-color: #fff9c4;"> <th colspan="3">復旧期</th> <th colspan="3">再生期</th> <th colspan="3">創造期</th> </tr> <tr> <th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th> <th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th> <th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th> </tr> <tr> <td colspan="3">①防災計画の検証・改訂</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">②津波等を想定した防災訓練の充実</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実</td> </tr> <tr> <td colspan="3">④広報体制の強化</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開</td> </tr> </table>			復旧期			再生期			創造期			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	①防災計画の検証・改訂												②津波等を想定した防災訓練の充実												③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実			④広報体制の強化															⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発									⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開		
復旧期			再生期			創造期																																																																					
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																																		
①防災計画の検証・改訂																																																																											
			②津波等を想定した防災訓練の充実																																																																								
						③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実																																																																					
④広報体制の強化																																																																											
						⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発																																																																					
						⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開																																																																					
参考指標の動向																																																																											
○災害協定の締結数																																																																											
区分	震災前	震災後失効	震災後締結	現在 (H28.5.30時点)																																																																							
締結協定数	31協定	▲2協定	22協定	51協定																																																																							
平成27年度以降締結の7協定																																																																											
① 災害時における災害情報等の放送に関する協定		(株式会社八戸テレビ放送)																																																																									
② 災害時における復旧活動の協力に関する協定		(八戸ガス株式会社)																																																																									
③ 災害時における捜索犬の出動に関する協定		(NPO法人北東北捜索犬チーム)																																																																									
④ 災害時における支援協力に関する協定		(みなと興業株式会社)																																																																									
⑤ 災害発生時の施設の使用に関する協定		(学校法人光星学院)																																																																									
⑥ 無人航空機等による災害情報の収集協力に関する協定		(青森県南UAVネットワーク)																																																																									
⑦ 災害時における被災者支援のための業務に関する協定		(青森県行政書士会八戸支部ほか3団体)																																																																									

凡例

事業 No.	復興計画の事業名	事業区分 (完了・追加)	<事業主体>	事業費	
				H27 決算	千円
				H28 予算	
					千円
【事業概要】		【実施状況】		【今後の予定】	
		H27 年度(又は H27 年度迄)の状況		H28 年度以降の状況・予定	

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

①防災計画の検証・改訂

No.01	八戸市地域防災計画の検証・改訂	<事業主体> 市	事業費	H27 決算	15 千円
				H28 予算	1,255 千円
【事業概要】		【実施状況】		【今後の予定】	
東日本大震災をふまえた八戸市地域防災計画の検証と見直し		S40.3 地域防災計画策定 ・以降 11 回の計画改定 H26.12 修正案の各課照会、防災会議委員へ照会 H27.2 防災会議開催 H27.3 印刷配布 H27 年度：県地域防災計画が改訂されなかったことから、市の計画改訂も見合わせた。		地域防災計画に基づく災害対策本部各班の対応状況の調査・検証を行い、その内容を踏まえ、市防災会議において、地域防災計画の改訂を行う。	
No.02	◆津波避難計画の検証・改訂	<事業主体> 市	事業費	H27 決算	0 千円
				H28 予算	0 千円
【事業概要】		【実施状況】		【今後の予定】	
東日本大震災をふまえた八戸市津波避難計画の検証と見直し		平成 17 年 3 月に策定した「八戸市津波避難計画」について、青森県が平成 24 年 10 月に公表した「L2 津波浸水予測図」及び平成 25 年 3 月に作成した「L1 津波浸水予測図」を基に改訂する。 H26.3 津波避難施設整備計画策定業務 成果品受領 H26.5 津波避難計画改訂一次案作成（津波避難対策庁内連絡会で提示） H26.7 津波避難計画改訂二次案作成（津波避難対策庁内連絡会で提示） H26.8～9 浸水想定区域の町内会長等を対象とした説明会を実施（全 15 地区で開催） H26.10～11 説明会の結果等を基に関係機関との協議 H26.12 最終案の作成（津波避難対策庁内連絡会で提示） H27.1 事業所説明会（全 7 回、事業者を対象） H27.2 八戸市津波避難計画の改訂 H27.3 印刷・配布 H27.4～市民課窓口での津波避難計画図の配布（転入者へ） H27.7 津波避難対策に係る講演実施		○津波避難計画（津波避難計画図）の周知徹底 ○関係課、関係機関との協議・連携 ○津波避難対策に係る新たなガイドラインの情報収集 ※国は、日本海溝千島海溝型地震の防災対策推進地域の見直しを実施予定 (県が津波災害警戒区域を指定予定であり、その結果を踏まえて津波避難計画の改訂を検討)	

No.03	◆★事業所等における業務継続計画の策定・充実	<事業主体> 県・市・民	事業費	H27 決算	0 千円
				H28 予算	0 千円
【事業概要】 市役所業務継続計画（地震編）の策定及び、民間事業者が災害時に重要業務を継続するための事業継続実施計画の策定及び充実	【実施状況】 ◎市役所業務 災害時においても必要な業務を継続するため、通常業務を「優先」、「縮小」、「休止」の三段階に区分した業務整理表を策定していたところであるが、より柔軟に対応できるよう、H24 年度から H25 年度にかけてさらに五段階に細分化する作業を行った。 H27 年度末に業務継続計画（地震編）を策定した。 ◎民間事業者 事業所等の BCP 策定に向けた普及・啓発等を実施。（現在のところ市 HP に掲載）	【今後の予定】 ◎市役所業務 市地域防災計画との整合性を図りながら、策定した業務継続計画（地震編）の定期的な見直しを図っていく。 市職員に対する周知徹底と業務整理表の更新。訓練の検討。 ◎民間事業者 県と連携し普及・啓発事業を検討する。			
No.04	★安全・安心まちづくり推進協議会の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H27 決算	107 千円
				H28 予算	193 千円
【事業概要】 災害に強いまちづくりに対応した協議会の機能充実	【実施状況】 市民、連合町内会、地域ボランティア団体、事業者、市、教育委員会、警察、消防、その他関係機関・団体と、安全で安心な「まちづくり」についての意見交換や情報交換を行う。 H28. 2. 16 八戸市安全・安心まちづくり推進協議会開催（出席：71 団体 210 名）	【今後の予定】 事業継続実施			
No.05	◆津波ハザードマップの改訂	<事業主体> 市	事業費	H27 決算	0 千円
				H28 予算	0 千円
【事業概要】 新たな津波シミュレーションに基づく、八戸市地震津波防災マップの改訂	【実施状況】 H26 年度に改訂された津波避難計画や、指定避難所・津波避難ビルの新規指定及びハード整備（津波避難タワーの新設、防災無線の増設、多賀地区多目的運動場の整備等）を踏まえ、防災マップ記載情報の更新について整理し新たに記載が必要な情報について検討を行った。 ※参考 H25. 3 八戸市地震津波防災マップの改訂 ・八戸市防災マップ <配布先> 防災関係機関等 955 件 (1, 025 部配布) ・津波避難ハンドブック <配布先> 全戸及び全事業所 107, 464 件	【今後の予定】 ○防災マップ記載情報の更新について整理するとともに、新たに記載が必要な情報について検討する。			

②津波等を想定した防災訓練の充実

No.06	◆★総合防災訓練・地区防災訓練の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H27 決算 3,371 千円 H28 予算 4,200 千円
<p><b>【事業概要】</b> 総合防災訓練・地区防災訓練の充実</p>	<p><b>【実施状況】</b> 防災関係機関や地域住民と連携し、地震・津波・洪水などの大規模災害に備えた防災訓練を実施</p> <p>◎八戸市総合防災訓練                  &lt;実施日&gt; H27. 8. 30                  &lt;実施場所&gt; 上長地区                  &lt;参加人数&gt; 近隣住民等約 1,800 人                  &lt;訓練内容&gt; 洪水対応訓練、被災現地・土砂災害対応訓練、地域自主防災訓練等</p> <p>◎平成 27 年度八戸地区石油コンビナート等特別防災区域総合防災訓練                  &lt;実施日&gt; H27. 11. 11                  &lt;場 所&gt; 八戸地区石油コンビナート等特別防災区域及びその周辺陸海域                  &lt;参加人数&gt; 関係機関約 380 人                  &lt;訓練内容&gt; 流出油処理訓練、石油タンク火災防御訓練、大容量泡放射システム配備訓練等</p> <p>◎地区防災訓練                  各地区の町内会や自主防災会等が実施                  H27 年度：市内 61 箇所の地区で実施</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ◎平成 28 年度馬淵川・高瀬川総合水防演習                  &lt;実施日&gt; H28. 5. 29                  &lt;場 所&gt; 長苗代地先馬淵川左岸                  &lt;訓練内容&gt; 洪水対応訓練、情報収集訓練、関係機関の連携訓練</p> <p>◎八戸市総合防災訓練                  &lt;実施日&gt; H28. 8. 28                  &lt;場 所&gt; 大館地区                  &lt;訓練内容&gt; 地震・津波対応訓練、被災現地対応訓練、地域自主防災訓練等</p> <p>◎地区防災訓練の指導・支援</p>		
No.07	◆★災害図上訓練の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H27 決算 13 千円 H28 予算 76 千円
<p><b>【事業概要】</b> 東日本大震災をふまえた災害図上防災訓練の充実</p>	<p><b>【実施状況】</b> 市職員の「八戸市地域防災計画」及び多様な災害に応じた「初動体制マニュアル」の習熟並びに同マニュアルの整備を目的として、図上訓練を実施するとともに、その他の個別防災訓練（通信訓練等）と組み合わせた実践的な訓練を行う。</p> <p>◎第 1 回図上訓練                  ・災害対策本部運営訓練（大津波）及び災害対策本部員会議の実施災害時の航空機の運用検討（H27. 7. 13）                  ・通信訓練（避難所通信システム等）（H27. 6. 17）</p> <p>◎第 2 回図上訓練                  ・避難所運営訓練（H28. 2. 10）                  ・避難所運営ゲームを活用した訓練を実施</p> <p>◎陸上自衛隊の訓練「みちのく A L E R T 2014」検討会に参加（H27. 5. 27～28）</p> <p>◎災害対策本部設置・運営マニュアル（試行）の策定</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ◎第 1 回図上訓練                  ・災害対策本部運営訓練（火災・風水害等）、災害対策本部員会議及び災害時の情報伝達訓練（H28. 10. 13 予定）                  ・通信訓練（避難所通信システム等）（H28. 9. 14 予定）</p> <p>◎第 2 回図上訓練                  ・避難所運営訓練（H29. 2. 9 予定）                  ・避難所運営ゲームを活用した訓練を実施</p> <p>◎陸上自衛隊の訓練「みちのく A L E R T 2018」事前訓練（図上）に参加予定（H28. 11. 8～9）</p> <p>◎災害対策本部設置・運営マニュアル（試行）の検証</p>		

No.08	◆事業所における防災訓練の充実	<事業主体> 民	事業費	H27 決算	0 千円
				H28 予算	0 千円
<b>【事業概要】</b> 民間事業所における防災訓練の充実	<b>【実施状況】</b> ◎事業所等において防災研修会を実施 ◎事業所防災計画の作成指導 ◎事業所防災訓練の充実  <消火・避難訓練実施状況> ・消火計画に基づく訓練の実施が必要な防火対象物数：2,193 ※特定防火対象物 収容人員 30 人以上、 非特定防火対象物 収容人員 50 人以上のもの ・訓練実施対象物数 消火訓練：798 避難訓練：794 ・訓練実施率 消火訓練：36.4 % 避難訓練：36.2% ※特定防火対象物のうち、消火・避難訓練を実施した対象物数	<b>【今後の予定】</b> 事業継続実施			

③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実

No.09	◆市避難所運営体制の再検討	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H27 決算	709 千円
				H28 予算	1,015 千円
<b>【事業概要】</b> 東日本大震災をふまえた八戸市避難所運営マニュアルの再検討、関係機関や地域団体との連携による避難所運営体制の検討及び情報通信技術を活用した、避難所運営における情報伝達・共有方法の検討	<b>【実施状況】</b> H27.8 地域の特性・状況に合わせた避難所運営マニュアルの作成支援(上長地区) H28.1 指定避難所への避難所運営物品の配布(管理者等が常駐している施設全 117 箇所) H28.2 指定避難所へ配備したガソリン発電機の点検(津波災害時の初動開設避難所など、優先度の高い施設を実施) ・地域の特性・状況に合わせた避難所運営マニュアルの作成支援 ・災害発生時の円滑な避難所開設・運営に資するため、各種資機材の配備、管理・運用 津波災害時の初動開設避難所など、優先度の高い施設を実施	<b>【今後の予定】</b> ○指定避難所へ配備したガソリン発電機の点検・修繕 ・H27 に点検を実施していない施設の点検委託 ・修繕が必要な発電機の修繕実施 ○地域の特性に合わせた避難所運営マニュアルの作成支援 ・大館地区のマニュアルの作成 ○避難所に配備した物品の維持管理・八戸市避難所運営マニュアルの改訂			
No.10	◆津波に対応した避難所・避難路の再検討	<事業主体> 市	事業費	H27 決算	0 千円
				H28 予算	0 千円
<b>【事業概要】</b> 東日本大震災の津波被害をふまえた避難地・避難所・避難路の再検討	<b>【実施状況】</b> 市内私立大学及び私立高校と指定避難所として指定するための協議を実施し学校法人光星学院と災害発生時の施設の使用に関する協定を締結。	<b>【今後の予定】</b> ・引き続き市内私立大学及び私立高校と指定避難所として指定するための協議を実施。(学校法人八戸工業大学) ・県による津波災害警戒区域の指定に伴い、災害対策基本法に基づく指定緊急避難場所の指定について検討する。			

No.11	◆津波避難ビルの指定・整備検討	<事業主体> 県・市	事業費 H27 決算 268,868 千円 H28 予算 554,658 千円
<p><b>【事業概要】</b> 津波発生時の避難困難地域における避難ビル指定の再検討及び津波避難ビル（タワー等）整備の検討</p>	<p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎津波避難ビル指定等                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H17.2 横浜冷凍（株）と八戸貿易センターを指定</li> <li>H24.1 小中野小学校を指定</li> <li>H25.2 青森県津波シミュレーションの結果を踏まえ、津波避難ビルを17箇所追加指定</li> <li>H26.3 八戸火力発電所、八戸中央高等学校を指定</li> <li>H26.4 八戸盲学校・聾学校を指定</li> <li>H26.7 小中野公民館を指定</li> <li>H28.3 八戸港貿易センター解散に伴う調整 ※施設への避難等について関係課、関係機関との協議・連携</li> </ul> </li> <li>◎津波避難施設整備計画策定業務                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H24.10 青森県津波シミュレーション公表</li> <li>H26.3 津波避難施設整備計画策定業務委託完了</li> </ul> </li> <li>◎小中野公民館防災拠点施設整備事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H26.5.20 完成・引渡し</li> <li>H26.6.23 落成式</li> <li>H26.6.30 開館</li> </ul> </li> <li>◎多賀地区津波避難タワー建設事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H24.3 多賀地区復興まちづくり計画策定</li> <li>H25.11.29 復興交付金(第7回)採択</li> <li>H27.9 竣工</li> </ul> </li> <li>◎沼館地区津波避難ビル整備事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H24.12 沼館地区住民団体から、H23.12に緊急防災避難所の整備に関する陳情があり、 H24.12月定例会で議会採択</li> <li>H25.12、H26.1 陳情者と意見交換</li> <li>H26.1～10 地元との意見調整、収容者数や建物規模の想定</li> <li>H26.11 基本実施設計業務契約締結</li> <li>H27.1～5 地質調査業務</li> <li>H27.12 新築工事等請負契約締結</li> <li>H28.1 工事着工</li> </ul> </li> <li>◎多賀地区津波避難施設整備事業(多賀多目的運動場管理棟4階を津波避難施設として整備するもの)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H25.11.29 復興交付金(第7回)採択</li> <li>H26.3 基本設計完了</li> <li>H26.5 用地買収開始</li> <li>H26.7 計画地の地質調査完了</li> <li>H26.10 実施設計の策定(10月24日完了)</li> <li>H26.10 粗造成工事着工(10月28日契約)</li> <li>H27.2 用地買収の完了</li> <li>H27.6 建築・電気・機械工事及び土木工事着工</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎津波避難ビル指定 津波避難ビルに関わる新ガイドライン等に基づき、新たな津波避難ビルの指定検討</li> <li>◎多賀地区津波避難タワー維持管理</li> <li>◎沼館地区津波避難ビル整備事業 H27年度から引き続き、新築工事等を進め、H28.12月に完成の見込み。 H29.4月供用開始予定。</li> <li>◎多賀地区津波避難施設整備事業 建築・電気・機械工事及び土木工事を進め H28.9月に工事完了見込み。 H28.10月供用開始予定。</li> </ul>	



No.12	◆小・中学校における防災体制の強化	＜事業主体＞ 市	事業費	H27 決算 H28 予算	0 千円 0 千円
<p><b>【事業概要】</b> 東日本大震災をふまえた各学校の危機管理マニュアルの検証・改善（避難場所・避難経路の複数設定等）</p>	<p><b>【実施状況】</b> H24.4 小中学校長に「児童生徒の安全指導及び学校の安全管理について」の通知  <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直し</li> <li>・災害発生に備えた安全管理</li> </ul> H24.7 停電時の非常放送用無停電電源装置（UPS）を設置            &lt;小学校&gt; 22校 22台            &lt;中学校&gt; 11校 11台             H26.4 「幼児・児童生徒の安全指導及び学校の安全管理について」の通知            H26.5～ 学校訪問において、通学路の点検、災害時の対応についての検証を指導・助言            H26.6～ 小・中学校生徒指導教育研究協議会において、安全指導について助言・指導            H26.10 学校の防災力を高めるための副読本・指導法に関する研修会の開催            H27.1～ 学校訪問において、冬期間の災害時の対応についての検証を指導・助言            H27.3 八戸市防災教育の日にかかわる取組についてのアンケート調査             H27 年度  <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波等を想定した避難訓練の実施</li> <li>・災害時の児童生徒の登下校の安全管理（保護者への引渡し手段の確認）</li> <li>・災害時の教職員体制と児童生徒への連絡等の確認</li> <li>・災害時の対応についての保護者への周知</li> <li>・防災ノートを活用した防災教育の推進</li> <li>・学校の防災力を高めるため防災ノート活用に関する研修会の開催</li> <li>・八戸市防災教育の日にかかわる取組についてのアンケート調査</li> </ul> </p>	<p><b>【今後の予定】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波等を想定した避難訓練の実施</li> <li>・避難場所、避難経路の複数設定</li> <li>・災害時の児童生徒の登下校の安全管理（保護者への引渡し手段の確認）</li> <li>・災害時の教職員体制と児童生徒への連絡等の確認</li> <li>・災害時の対応についての保護者への周知</li> <li>・防災ノートを活用した防災教育の推進</li> <li>・学校の防災力を高めるため防災ノート活用に関する研修会の開催</li> <li>・八戸市防災教育の日にかかわる取組についてのアンケート調査</li> </ul> </p>			

No.13	◆備蓄品目及び備蓄数の検証・充実	<事業主体> 市	事業費	H27 決算 3,168 千円	H28 予算 4,000 千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
津波指定避難所へのLEDライト・ろうそく・毛布等の配備及び救済物資の備蓄品目・備蓄数及び調達に係る検証・充実	H26.3 津波避難ビルへの備蓄品購入 H27.2 津波避難ビルへの備蓄品購入 ○公的備蓄の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛布の購入 (340 枚)</li> <li>・津波避難ビルへの備蓄</li> </ul> H27.10 多賀地区津波避難タワーへの備蓄 H28.3 アルミブランケットを備蓄 (19 施設、6,480 枚) ○備蓄品、備蓄倉庫の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各倉庫の点検、根城防災倉庫の草刈を実施</li> </ul>	○八戸市備蓄計画の策定 ○備蓄計画に基づく備蓄実施に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>購入品目の選定</li> <li>購入に係る予算措置</li> </ul> ○備蓄品、備蓄倉庫の管理			

No.14	◆新学校給食センターの整備検討	<b>H25 完了</b>
-------	-----------------	---------------

No.15	◆物資供給等災害時における支援協力協定の検証・改定	<事業主体> 市	事業費	H27 決算 0 千円	H28 予算 0 千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
市が災害時に備えて各種団体と締結している様々な災害協定の検証・改定	◎災害協定の締結状況 (H28.3.31 現在 : 50 協定) H22 年度までの協定数 : 31 H23 年度に締結した協定数 : 6 H24 年度に締結した協定数 : 3 H25 年度に締結した協定数 : 3 H26 年度に締結した協定数 : 3 H27 年度に締結した協定数 : 6 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における災害情報等の放送に関する協定 (株式会社八戸テレビ放送)</li> <li>・災害時における復旧活動の協力に関する協定 (八戸ガス株式会社)</li> <li>・災害時における捜索犬の出動に関する協定 (特定非営利活動法人北東北捜索犬チーム)</li> <li>・災害時における支援協力に関する協定 (みなと興業株式会社)</li> <li>・災害発生時の施設の使用に関する協定 (学校法人 光星学院)</li> <li>・無人航空機等による災害情報の収集協力に関する協定 (青森県南UAVネットワーク)</li> </ul>	事業継続実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に円滑な支援を受けるため、連絡体制を強化する。</li> <li>・災害協定に係る事務を各部署に移譲し、協定の検証及び改定に向けた支援を行う。</li> <li>・新たに民間事業者等の支援が必要な事案を考慮し、協定の締結を進める。</li> </ul> ※H28.5.30 「災害時における被災者支援のための業務に関する協定」を 青森県行政書士会八戸支部 青森県司法書士会八戸支部 青森県土地家屋調査士会八戸支部 青森県社会保険労務士会八戸支部 査 と締結			

No.16	指定避難所の耐震化	<事業主体> 市	事業費 H27 決算 215,656 千円 H28 予算 903,441 千円
【事業概要】 公民館等の耐震診断、耐震補強の実施	【実施状況】 H25. 7～10 に耐震診断を実施(地区公民館等 12 施設)した結果、鉄骨造の 4 施設(是川、館、根城、江陽公民館)が耐震基準を満たしていないことが判明  H26 年度 ・館公民館/江陽公民館 解体工事及び新築基本・実施設計業務を実施。 H27 年度 ・館公民館 解体工事、新築工事 ・江陽公民館 新築工事 ・是川公民館/根城公民館 新築基本・実施設計業務委託、地質調査業務委託	【今後の予定】 H28 年度 ・館公民館、江陽公民館、根城公民館 新築工事 ・是川公民館 建設用地造成工事設計委託 建設用地造成工事 H29 年度 ・根城公民館 解体工事、駐車場整備工事 ・是川公民館 新築工事	
No.17	小・中学校における避難所機能の整備	<事業主体> 市	事業費 H27 決算 77,684 千円 H28 予算 161,603 千円
【事業概要】 非常用発電機の配備と救援物資、機材等の備蓄機能の整備の検討及び屋内運動場等天井等落下防止対策	【実施状況】 H24 年度まで 市内全小中学校に非常用発電機を配備 H25 年度～ 非常時に避難所として使用される市内小中学校の屋内運動場等の照明器具、バスケットゴール等の落下防止対策(点検)を実施 H26 年度 ①実施設計業務委託 小学校 27 校, 中学校 15 校 ②点検業務委託 小学校 29 校, 中学校 16 校 ③意図伝達業務委託 小学校 6 校, 中学校 4 校 ④工事 小学校 13 校, 中学校 5 校 H27 年度 ①実施設計業務委託 小学校 11 校、中学校 8 校 ②意図伝達業務委託 小学校 1 校、中学校 0 校 ③監理業務委託 小学校 1 校、中学校 0 校 ④工事 小学校 22 校、中学校 14 校	【今後の予定】 H28 年度 工事 小学校 11 校、中学校 5 校	
No.18	◆★総合保健センターの整備(再掲)	<事業主体> 市・民	事業費 H27 決算 0 千円 H28 予算 187,750 千円
【事業概要】 田向地区に、災害時に保健・医療活動の拠点となる総合保健センターの整備の推進	【実施状況】 ・基本構想(案)へのパブリックコメント 募集期間 H27. 5. 22～6. 26 提出意見 2 件 ・基本構想策定(H27. 7) ・設計者選定プロポーザル審査委員会による審査結果を受け、H28. 1 月、最優秀者である株式会社久米設計と基本設計業務委託契約(現在設計中)	【今後の予定】 基本設計業務委託完了後、実施設計業務及び建設予定地の地質調査を実施する。	

No.19	◆福祉避難所の指定・整備	＜事業主体＞ 市	事業費	H27 決算 107,842 千円 H28 予算 20,403 千円										
<p>【事業概要】</p> <p>災害時要援護者等の避難支援として、福祉避難所の指定・整備</p>	<p>【実施状況】</p> <p>八戸市の福祉避難所の協定締結施設：67 施設 (定住自立圏での相互利用可能施設：165 施設) (H28. 3. 31 現在)</p> <p>H23. 12. 22 市内及び近隣町の社会福祉事業者と福祉避難所の確保に関する協定締結</p> <p>H24. 3 八戸市福祉避難所設置・運営マニュアル作成</p> <p>H27 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉公民館             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会議室改修工事</li> <li>・非常用発電設備改修工事</li> </ul> </li> <li>○総合福祉会館             <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷温水発生機取替工事</li> </ul> </li> <li>○要援護者抽出チーム員研修会開催</li> <li>○社会福祉事業者と福祉避難所確保に関する協定締結</li> <li>○八戸市総合防災訓練への参加（福祉避難所移送訓練）</li> <li>○施設福祉避難所向けマニュアル作成・配布</li> <li>○福祉体育館耐震補強工事</li> </ul>	<p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総合福祉会館             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央監視装置改修工事</li> </ul> </li> <li>○要配慮者移送チーム員研修会開催</li> <li>○社会福祉事業者と福祉避難所確保に関する協定締結</li> <li>○八戸市防災訓練への参加（福祉避難所移送訓練）</li> <li>○福祉避難所運営に伴う備品等の整備（福祉公民館・総合福祉会館）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・視力・聴力障がい者への災害情報・緊急情報配信機器（テレビ配置）</li> <li>・対流式ストーブ（停電時でも使用可能）</li> </ul> </li> <li>○福祉体育館ボイラー配管及びパネル改修工事</li> </ul>												
No.20	◆避難所・避難路サインの整備	＜事業主体＞ 市	事業費	H27 決算 63,629 千円 H28 予算 39,000 千円										
<p>【事業概要】</p> <p>災害時の避難所・避難路を表示する標識等の整備</p>	<p>【実施状況】</p> <p>◎避難所標識の設置状況 (新規、老朽化による更新等)</p> <table border="0"> <tr> <td>H26 年度</td> <td>新規設置 7 箇所</td> <td>H27 年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>更新設置 4 箇所</td> <td></td> <td>撤去 1 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 11 箇所</td> <td></td> <td>(八戸市体育館)</td> </tr> </table> <p>◎標高(海拔)の表示状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所：H24 年度 124 箇所、H23 年度 3 箇所</li> <li>・バス停：H24 年度 238 箇所</li> </ul> <p>◎津波避難ビル標識の整備 (24 施設)</p> <p>◎津波避難誘導標識等の設置</p> <p>H26. 6～H27. 3</p> <p>津波避難誘導標識等整備設計業務委託</p> <p>◎H27 年度実施分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波避難誘導標識等の整備（復興交付金対象エリア内分）193 箇所設置</li> </ul>	H26 年度	新規設置 7 箇所	H27 年度			更新設置 4 箇所		撤去 1 箇所		合計 11 箇所		(八戸市体育館)	<p>【今後の予定】</p> <p>◎津波避難誘導標識等の整備 (復興交付金対象エリア外分) 約 120 箇所設置予定</p>
H26 年度	新規設置 7 箇所	H27 年度												
	更新設置 4 箇所		撤去 1 箇所											
	合計 11 箇所		(八戸市体育館)											

④広報体制の強化

No.21	防災行政無線仮復旧事業	H23 完了
-------	-------------	--------

No.22	津波避難誘導標識の復旧・整備	H26 完了
-------	----------------	--------

No.23	防災行政無線本復旧事業	H24 完了
-------	-------------	--------

No.24	◆★災害時における広報体制の 検証・強化	＜事業主体＞ 市	事業費	H27 決算 2,470 千円 H28 予算 24,900 千円
【事業概要】	【実施状況】			【今後の予定】
<p>防災無線・広報車・ホームページ・ほっとスルメール等、広報体制の検証・強化及び災害時の広報手段としてのコミュニティFM等との連携強化及び携帯電話へのエリアメール配信等、新たな媒体や情報通信技術を活用した広報体制の充実</p>	<p>H23. 8. 1 エリアメール運用開始(今後広報媒体として位置付け)</p> <p>H24. 1. 18 コミュニティ FM 放送局・(株)ビーエフエムと「災害時における災害情報等の放送に関する協定」を締結</p> <p>H24. 3. 11 au 及びソフトバンクの緊急速報メールの運用開始</p> <p>H24. 5. 11 緊急割込放送訓練の実施</p> <p>H24. 9. 1 安全・安心情報システムのカテゴリ追加(「クマ・サル等出没情報」)</p> <p>H25. 3. 25 安全・安心情報システムの改修(エリアメール等との連携、気象情報 XML 化対応)完了、運用開始</p> <p>H26. 2. 12 安全・安心情報システム改修完了、運用開始 (ほっとスルメールのシステム経由で、ほっとスルメール登録者やエリアメール、緊急速報メールへ全国瞬時警報システム(J-ALERT)の情報を自動配信)</p> <p>H26. 11～ 庁舎外から配信できるタブレット端末を購入し、災害時等に課内からの配信作業が困難となった場合や休日夜間にも配信できる体制を整備。</p> <p>H27. 4. 27 (株)八戸テレビ放送と「災害時における災害情報等の放送に関する協定」を締結</p> <p>○加入促進活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災イベントにおける加入相談コーナー設置。市民課の協力による、転入者へのチラシ配布。その他関係機関の協力によるチラシ配布。</li> <li>・総合防災訓練にて、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練の実施</li> <li>・機器更新の検討</li> </ul> <p>○加入件数 38,925 件 (H28. 3. 31 現在) (内訳:一般登録15,785件、学校関係者19,933件、市職員408件、消防本部438件、消防団員1,195件、やさしい日本語・英語44件、市民病院職員参集1,122件)</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信業務、加入促進啓蒙活動等のほか、引続き、広報体制の継続的検証・強化を検討</li> <li>・H28. 6 月末現在 加入件数 39,077 件</li> <li>・安全情報の手動配信業務(危険動物等)</li> <li>・エラー登録者管理</li> <li>・加入促進活動:防災イベントにおける加入相談コーナー設置。市民課の協力による、転入者へのチラシ配布。その他関係機関の協力によるチラシ配布</li> <li>・総合防災訓練にて、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練の実施</li> <li>・サーバー負荷増大に対応した機器更新及びシステム改修(気象情報 Jアラート連携、アプリ改修)【新規】</li> <li>・防災行政無線子局 1 基増設予定</li> <li>・他の自治体の緊急告知ラジオの導入事例を参考にし、費用対効果と導入について検討する</li> <li>・H28. 6 日本海溝海底地震津波観測網(S-net)八戸陸上局の開局。発信する情報の精度向上・迅速化が期待される。</li> </ul>

No.25	◆防災行政無線の増設	H26 完了
-------	------------	--------

No.26	◆障がい者等への情報伝達体制の検討(在住外国人等)	＜事業主体＞ 市	事業費	H27 決算 242 千円	H28 予算 114 千円
<p><b>【事業概要】</b> 視聴覚障がい者や在住外国人等に対する災害発生情報の伝達体制を検討</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎在住外国人等 H25. 2 外国人のための防災ガイドブックを作成し、市内在住外国人世帯向けに、ガイドブックを送付（英語、中国語、韓国語、やさしい日本語） H25. 3 外国人のための防災ガイドブックの窓口配付開始 H25. 3 外国人用ほっとスルメール稼働 H28. 3 外国語の避難所一覧を作成 ・市内在住外国人世帯へ送付 ・窓口配布開始</p> <p>＜配信状況＞ H27. 9. 18 津波注意報発表、解除 2 件 津波注意報に伴う避難所開設 2 件</p> <p>＜登録状況＞ 37 名（H28. 3. 31 現在）</p> <p>◎障がい者 H24. 3 福祉避難所設置・運営マニュアル策定 H24. 9 福祉避難所運営マニュアルに基づく抽出訓練 H25. 4 要援護者マップシステムの稼働 H26. 3 要援護者マップシステムと FAX 一斉送信システム（BIZ ファックス）の連携について、福祉政策課と協議 H26. 4～視覚障がい者については、緊急警報放送受信機能を持った地上デジタル放送対応ラジオの購入補助を行っている。 H27. 3 聴覚障がい者については、要援護者マップシステムから FAX 一斉送信システム（BIZ ファックス）へのデータ取込み手順をマニュアル化した。（聴覚障がい者の災害時要援護者 133 名のうち FAX 所持者 47 世帯）</p> <p>H27 年度 ・聴覚障がい者については、災害時要援護者としての登録は希望しないが、FAX 一斉送信を希望する人も想定されるため、希望調査を行い、対象者をまとめた。 ・視覚障がい者については、緊急警報放送受信機能付き地上デジタル放送対応ラジオの購入補助の周知</p>				
				<p><b>【今後の予定】</b> ◎在住外国人等 ・緊急情報伝達体制の周知による登録者増を図る。 （周知チラシの在住外国人世帯への送付、広報はちのへ・市ホームページへの記事掲載等）</p> <p>◎障がい者 ・聴覚障がい者については、Fax 一斉送信システム（BizFAX）・ほっとするメールへの登録希望調査を実施…対象者 546 人（H28. 3. 31 現在） ・視覚障がい者については、引き続き、緊急警報放送受信機能付き地上デジタル放送対応ラジオの購入補助の周知を行っている。</p>	

⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発

No.27	◆小・中学校における防災教育の推進	＜事業主体＞ 市・高等教育機関	事業費	H27 決算 200 千円 H28 予算 200 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】		
東日本大震災をふまえた防災教育や避難訓練の充実、地域密着型教育の推進を通じた防災教育への取組、研修等による教職員の防災能力向上及び高等教育機関による防災教育の支援	(内容) 1 東日本大震災をふまえた防災教育・避難訓練の充実 2 防災教育支援事業による自らの命を自ら守ろうとする態度や能力の育成 3 研修・研究等による教職員の防災教育の推進 4 小中学生を対象とする八戸市独自の「防災教育副読本」を作成 (H27.4 に配付) ◎27 年度実績 ・防災教室支援事業 10 回開催、2,116 名参加 ・H28.3.11 「八戸市防災教育の日」安全指導、体験活動、安全点検等実施 ・「防災教育副読本」の内容の改訂と、毎年度の新小1・4、中1生への配付	・防災教育支援事業の実施 ・八戸市防災教育の日(3.11)の実施		

No.28	子ども防災力アップ事業の実施	<b>H23 完了</b>
-------	----------------	---------------

No.29	◆★地元高等教育機関による防災・復興に関する調査研究活動の促進	＜事業主体＞ 市・高等教育機関等	事業費	H27 決算 830 千円 H28 予算 1,000 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】		
八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校との3校と八戸市の連携による「八戸市都市研究検討会」での専門性の高い調査研究活動や提言等の実施及び八戸工業大学「防災技術社会システム研究センター」等の調査研究活動の促進	◎八戸市都市研究検討会 H27.12 第11回八戸市都市研究検討会 ・中間報告／「八戸創生ービッグデータを活用した地域振興策の調査研究」 H28.3 第12回八戸市都市研究検討会 ・最終報告／「八戸創生ービッグデータを活用した地域振興策の調査研究」 ◎防災技術社会システム研究センター ・第4回市民と一緒に考える国際防災フォーラム <開催日>H27.8.30 <内容／講演・ポスターセッション:海外の危機管理・被災地への人道支援など> ・3.11 防災フォーラム 2016 <開催日>H28.3.11 <内容／研究報告・市の防災担当、消防、一般市民・学内研究者によるパネルディスカッション等>	◎八戸市都市研究検討会 ・年2回程度開催予定 ・新たな研究テーマを決定し、調査研究を進める ◎防災技術社会システム研究センター ・事業継続実施予定		

No.30	◆★住民等への防災意識の啓発	＜事業主体＞ 市・民	事業費	H27 決算 2,749 千円	
				H28 予算 3,291 千円	
<p><b>【事業概要】</b> 津波による被害と防災に対する市民への啓発(防災対策研修会の実施等)</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎地域防災組織の訓練実施状況 (H28. 3. 31 末現在) 訓練実施団体 61 団体、訓練実施回数 61 回 ◎講師派遣 自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会、研修会への講師派遣 H24 年度:17 回 H25 年度:27 回 H26 年度:12 回 H27 年度:17 回 ◎「広報はちのへ」へ防災に関する記事掲載 H27 年度:6 月、9 月、11 月、3 月号に掲載 ◎ピアドゥ防災広場 ＜開催日＞ H27. 9. 27 ＜内 容＞ 来場者に対し防災クイズラリー、防災パンフレット配布、東日本大震災写真パネル展示を行い住民の防災意識の高揚を図った。(来場者約 200 名) ◎自主防災組織リーダー研修会、講演会の実施 ◎防災士育成補助金事業 防災力の向上の担い手となる防災士の資格取得に要する費用の一部を補助。交付対象 47 名</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 事業継続実施 ◎広報はちのへ H28 年度:6 月号に掲載 9 月, 11 月, 3 月号に掲載予定 ◎ピアドゥ防災広場 H28. 9. 25 開催予定 ◎防災市民研修会の開催 対 象 者: 一般市民 募集人数: 300 名程度 内 容: 防災知識及び防災意識の向上を目的とした講演会を実施予定</p>			

No.31	まるごとまちごとハザードマップ事業の実施	<b>H23 完了</b>
-------	----------------------	---------------

⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開

No.32	◆東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開	＜事業主体＞ 県・市・広域事務組合・民	事業費	H27 決算 1,512 千円	
				H28 予算 1,512 千円	
<p><b>【事業概要】</b> 被災・復旧・復興に係る記録・資料の保存公開及び公共施設への波高表示、消防本部新庁舎内への防災展示コーナーの設置・活用</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎写真撮影 復旧・復興に係る事業者の取組み及び市民活動等の記録(継続中) 等 ◎震災の状況を伝える資料の収集・保存 市民等が記録した映像の収集(継続中) ◎東日本大震災写真展開催 H27. 11. 5～12 (津波防災の日(11. 5)に合わせて開催) H28. 3. 9～16 (東日本大震災(3. 11)に合わせて開催) ◎青森震災アーカイブ ・青森震災アーカイブ保守委託 (登録件数 68, 305 件)</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ・東日本大震災写真展開催予定 H28. 11. 4～11 (津波防災の日) H29. 3. 9～16 (東日本大震災) ・青森震災アーカイブシステムへの新たな資料の保存等</p>			



**3. 施策を取り巻く課題や論点**

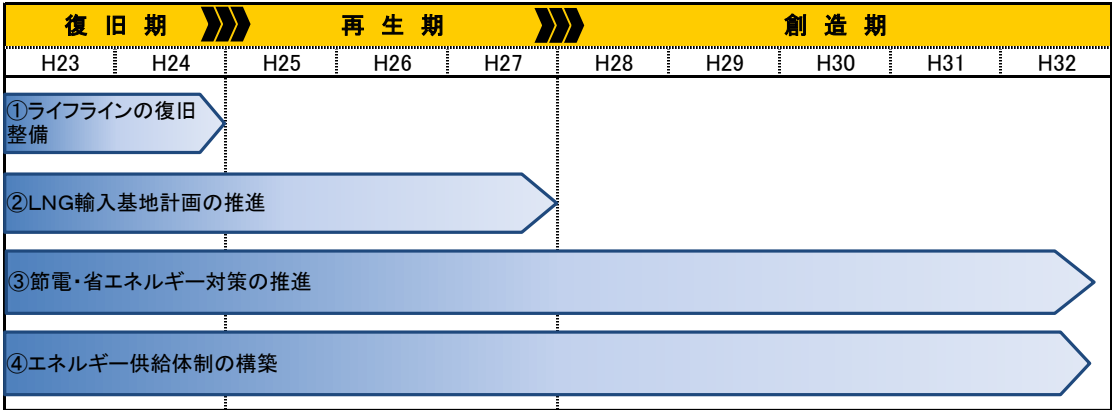
- ◎関係機関・関係団体と連携した総合的な防災体制の早期構築
- ◎津波シミュレーション等を踏まえた災害時応急体制の充実・強化
- ◎市民一人ひとりの防災意識の醸成
- ◎震災の記録や資料の保存・活用と防災教育の推進

**4. 復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見

1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化															
施策名	4-(2) 水・エネルギー対策の充実															
施策の概要	<p>目指す姿 水、エネルギー等のライフラインの強化のほか、省エネルギー対策の充実、再生可能エネルギーの導入促進により、災害に強いエネルギーの供給体制が構築されている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価 【設問】LNG（液化天然ガス）の普及や再生可能エネルギーの導入により、災害に強いエネルギー供給体制の構築が図られている。 【点数】2.6</p> <p>施策の工程</p>  <p>参考指標の動向</p> <p>○市公共施設への太陽光発電システム導入件数(施設数)</p> <table border="1" data-bbox="354 1211 1482 1973"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>震災前</th> <th colspan="2">震災後</th> </tr> <tr> <th>～H22年度</th> <th>H23～26年度</th> <th>H27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>5施設</td> <td>16施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td>導入施設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市庁舎本館</li> <li>・東部終末処理場</li> <li>・江陽中学校</li> <li>・小中野中学校</li> <li>・白山台小学校</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上小学校</li> <li>・柏崎小学校</li> <li>・白山台公民館</li> <li>・白山台ヒルズ集会所</li> <li>・多賀台集会所</li> <li>・城北小学校</li> <li>・白銀公民館</li> <li>・島守小学校</li> <li>・明治中学校</li> <li>・中沢中学校</li> <li>・第二中学校</li> <li>・第三中学校</li> <li>・南浜中学校</li> <li>・根岸公民館</li> <li>・鮫公民館</li> <li>・湊公民館</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多賀小学校</li> <li>・田面木小学校</li> <li>・大館中学校</li> <li>・豊崎中学校</li> <li>・是川中学校</li> <li>・上長公民館</li> <li>・白銀南公民館</li> <li>・東公民館</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		震災前	震災後		～H22年度	H23～26年度	H27年度	施設数	5施設	16施設	8施設	導入施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市庁舎本館</li> <li>・東部終末処理場</li> <li>・江陽中学校</li> <li>・小中野中学校</li> <li>・白山台小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上小学校</li> <li>・柏崎小学校</li> <li>・白山台公民館</li> <li>・白山台ヒルズ集会所</li> <li>・多賀台集会所</li> <li>・城北小学校</li> <li>・白銀公民館</li> <li>・島守小学校</li> <li>・明治中学校</li> <li>・中沢中学校</li> <li>・第二中学校</li> <li>・第三中学校</li> <li>・南浜中学校</li> <li>・根岸公民館</li> <li>・鮫公民館</li> <li>・湊公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多賀小学校</li> <li>・田面木小学校</li> <li>・大館中学校</li> <li>・豊崎中学校</li> <li>・是川中学校</li> <li>・上長公民館</li> <li>・白銀南公民館</li> <li>・東公民館</li> </ul>
	震災前		震災後													
	～H22年度	H23～26年度	H27年度													
施設数	5施設	16施設	8施設													
導入施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市庁舎本館</li> <li>・東部終末処理場</li> <li>・江陽中学校</li> <li>・小中野中学校</li> <li>・白山台小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上小学校</li> <li>・柏崎小学校</li> <li>・白山台公民館</li> <li>・白山台ヒルズ集会所</li> <li>・多賀台集会所</li> <li>・城北小学校</li> <li>・白銀公民館</li> <li>・島守小学校</li> <li>・明治中学校</li> <li>・中沢中学校</li> <li>・第二中学校</li> <li>・第三中学校</li> <li>・南浜中学校</li> <li>・根岸公民館</li> <li>・鮫公民館</li> <li>・湊公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多賀小学校</li> <li>・田面木小学校</li> <li>・大館中学校</li> <li>・豊崎中学校</li> <li>・是川中学校</li> <li>・上長公民館</li> <li>・白銀南公民館</li> <li>・東公民館</li> </ul>													

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

① ライフラインの復旧・整備

No.01	上水道、電気、ガス、通信、工業用水道の復旧	H23 完了
No.02	石油燃料の供給回復	H23 完了
No.03	石油燃料の優先供給に関する協定の締結	H23 完了

No.04	ガスタービン発電設備の新設	完了	<事業主体> 民	事業費	H27 決算 一千円 H28 予算 一千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>			
震災後の供給電力不足を補う火力発電設備（ガスタービン）を八戸火力発電所に新設	<p>H23. 5. 20 東北電力が河原木の八戸火力発電所に、緊急設置電源としてガスタービン整備を決定、工事着手（出力 27.4 万 kW）</p> <p>H24. 7 シンプルサイクル方式運転開始</p> <p>H26. 8 コンバインドサイクル方式運転開始（出力 39.4 万 kW）</p> <p>H27. 3 軽油から天然ガス（LNG）への主燃料転換に係る試運転開始</p> <p>H27. 7 八戸火力発電所 5 号機について、軽油から LNG への燃料転換工事が完了し、LNG による運転を開始（出力 41.6 万 kW） ※使用する天然ガスは、八戸 LNG ターミナルより供給を受ける</p>	—			

② LNG 輸入基地計画の推進

No.05	◆★エネルギーシステム転換の支援	<事業主体> 市・民	事業費	H27 決算 16,000 千円 H28 予算 10,000 千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>		
環境負荷低減のためのエネルギーシステムの転換に要する費用に対する補助及び LNG 等の利用促進のための普及啓発	<p>◎エネルギーシステム転換支援事業</p> <p>&lt;対 象&gt; エネルギーシステムの転換に要する機械装置の整備等</p> <p>&lt;補助率&gt; 1/6 以内</p> <p>&lt;申 請&gt; 1 件</p> <p>&lt;補助額&gt; 2,000 千円（補助対象経費 1 億円以上の場合は 1,000 万円） （公募、LNG 利活用推進セミナー in 八戸開催での PR のほか、産業用途のボイラーを所有していると見込まれる企業に対し企業訪問の上 PR を行った）</p> <p>&lt;実 額&gt; 4 社 合計 16,000 千円</p>	事業継続実施		

No.06	◆★LNG輸入基地計画の推進	<事業主体> 市・民	事業費	H27 決算	354 千円
				H28 予算	472 千円
<p><b>【事業概要】</b> LNG 輸入基地の八戸港への立地計画の推進及び平成 27 年 4 月の LNG 輸入基地運転開始に対応した基盤整備等</p>	<p><b>【実施状況】</b> H22.1 八戸 LNG 基地の立地協定の締結 新日本石油(株) (現: J X 日鉱日石エネルギー(株))、青森県及び八戸市</p> <p>◎建設工事の施工 H23.3 地盤改良工事完了 H23.8 LNG タンク基礎工事完了 H23.10 LNG ガス導管敷設工事着手 H24.10-11 LNG タンクのエアレイジング (屋根浮上) 工事実施 H25.11 外航船棧橋・内国船棧橋の完成</p> <p>◎関連企業訪問・視察 H26.5 市長以下によるシェブロン社 (米国) 訪問を実施し、関係強化に努めた</p> <p>◎見学会実施 H27.1 総合試運転開始に合わせ、市民向け見学会、アートイベントを実施</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 引き続き LNG の利用拡大に資するため、関連産業の立地及び水素社会づくりに向けた取組に努める。</p>			

③節電・省エネルギー対策の推進

No.07	節電・省エネルギーの推進	<事業主体> 市・民	事業費	H27 決算	20 千円
				H28 予算	37 千円
<p><b>【事業概要】</b> 震災後の電力不足に係る節電・省エネルギーの推進</p>	<p><b>【実施状況】</b> 数値目標を設けず無理のない範囲でできる限りの節電の協力を各部署に依頼した。 夏季と冬季の省エネルギー対策をホームページに掲載して市民に節電・省エネルギーを呼びかけた。 電力使用量は、「うみねこプラン」の基準年度 (H25 年度) と比較して以下のとおりであった。 ・H27 年度 1.27%削減</p> <p>○省エネとごみ減量セミナー 日時:平成 27 年 6 月 26 日 (金) 場所:八戸ポータルミュージアムはっち</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ・省エネルギーセミナー (予定) 日時:平成 28 年 7 月 27 日 (水) 場所:八戸ポータルミュージアムはっち</p>			

No.08	★新うみねこプランの推進	＜事業主体＞ 市・民	事業費	H27 決算 H28 予算	0 千円 3 千円
<p><b>【事業概要】</b> 市内から排出される二酸化炭素の削減計画策定及び進捗管理を行い、地球温暖化対策を推進するため節電・省エネルギー対策を実施</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎「新うみねこプラン」に基づいた二酸化炭素削減に向けた取組の実施 ・うみねこプラン及び環境マネジメントシステムの推進 市の事務事業について、温室効果ガスの削減、省資源及び省エネルギーを目標とした計画の策定及びその進捗管理を行う。 ・市民・事業者の取組促進 環境保全活動団体への補助金交付、環境展・環境学習会の開催、こどもエコクラブによる環境学習の推進 ・再生可能エネルギー等導入推進事業 公共施設への太陽光発電システム・蓄電池等の設置（H27年度で終了） ◎H25年度の二酸化炭素排出量の算定 ◎市ホームページ上で二酸化炭素排出量を公表、「広報はちのへ」に特集記事を掲載</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ◎「新うみねこプラン」に基づいた二酸化炭素削減に向けた取組の実施 ◎平成26年度の二酸化炭素排出量の算定 ◎市ホームページ上で二酸化炭素排出量を公表 ◎「新うみねこプラン」の改訂の検討（環境省が策定マニュアル改訂に着手しており、その後に検討する予定）</p>			
No.09	★環境教育の充実	＜事業主体＞ 市・高等教育機関	事業費	H27 決算 H28 予算	1,703 千円 1,864 千円
<p><b>【事業概要】</b> 小学校児童及び地域住民を対象とした、家庭でできる省エネ活動などに関する環境学習会の開催等及び高等教育機関による環境教育の支援</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎出前環境学習会 ＜内容＞ 講師1名（職員）と補助員（職員及び有償ボランティア）数名が学校に出向き学習会を開催 ＜実績＞ 小学校8回 ◎屋外環境学習会 ＜内容＞ 川や田んぼなどで体験型の学習会の実施 ＜実績＞ 小学校15回 ◎地域住民対象出前講座 （町内会などの要望に基づき実施） ＜実績＞ 地域住民22回 ◎エコツアー 2回 ◎登録ボランティア 18人</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ○環境学習会 屋外環境学習会：7回 屋内環境学習会：11回 ○せせらぎウォッチング 6月17日に実施 ○エコツアー 6月、8月に実施</p>			
No.10	災害時における公共交通の安定供給に関する検討(再掲)	＜事業主体＞ 市	事業費	H27 決算 H28 予算	0 千円 0 千円
<p><b>【事業概要】</b> バス等交通事業者、警察、国、県などの関係機関との連携による災害時を見据えた公共交通対策の検討</p>	<p><b>【実施状況】</b> 「災害時公共交通対策検討分科会」の設置（H24.5） （バス事業者、タクシー事業者、鉄道事業者、道路管理者、警察、学識経験者、一般市民等により構成） H24.5～H25.3 災害時公共交通対策検討分科会開催（10回） H24.5～H25.3 地域公共交通会議開催（4回） ・「八戸市災害時公共交通行動指針」策定（H25.3） ・八戸市地域防災計画の修正（H26.1）に合わせ、改訂後の同計画に行動指針の内容を反映</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 策定した行動指針に基づき、各事業者が大規模災害に備える。 ・行動指針に沿って情報伝達訓練を実施</p>			

No.11	災害に強いまちづくり事業(電気自動車等購入費)	<事業主体> 市	事業費	H27 決算 0千円 H28 予算 0千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>		
災害時における燃料不足の際、人、物資の運搬等非常時の機動力・情報収集力を確保するため、災害対策本部が設置される市役所を中心に急速充電器を設置するとともに電気自動車を購入	H24年度 公用車として電気自動車2台導入、市庁に急速充電器1台設置 H25年度 国・県の事業を活用した充電器設置を促進するため、市施設所管課へ国・県の補助制度を紹介 H26年度 青森県の補助制度の利用状況等に関する情報収集 H27年度 市施設所管課へ次世代自動車充電インフラ整備促進事業を紹介し、制度を活用した充電器設置を促した。	市施設所管課へ次世代自動車充電インフラ整備促進事業を紹介し、制度を活用した充電器設置を促す。 今後、状況に応じて整備について検討していく。		

④エネルギー供給体制の構築

No.12	メガソーラー発電所の建設	H23完了
-------	--------------	-------

No.13	◆★住宅用太陽光発電システム導入の支援	H24完了
-------	---------------------	-------

No.14	◆グリーンニューディール基金事業	H23完了
-------	------------------	-------

No.15	◆★再生可能エネルギーの導入促進 <b>完了</b>	<事業主体> 市・民・高等教育機関	事業費	H27 決算 411,000千円 H28 予算 ー千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>		
公共施設における再生可能エネルギーの利用促進、グリーン電力証書の発行、太陽光・洋上風力・バイオマス等の導入の検討	国の再生可能エネルギー等導入推進事業を活用し、公共施設に太陽光発電システム等を導入する。 H27年度 公民館3施設、小中学校5校に次の設備を導入 ①太陽光発電システム(公民館・学校ともに10kW) ②蓄電池(公民館10kWh、学校15kWh)	—		
No.16	◆畜産バイオマス利用による発電等の事業化の促進(再掲)	<事業主体> 市・民	事業費	H27 決算 0千円 H28 予算 0千円
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>	<b>【今後の予定】</b>		
家畜排せつ物の焼却処理に伴う燃焼エネルギーを利用した発電、焼却灰の肥料利用を目的とした民間事業者による施設整備を側面から支援	発電事業に関心のある事業者等の情報収集に努めた。 事業者の勉強会にオブザーバーとして参加した。(4回) H27年8月策定の「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン」において、畜産バイオマス発電について、必要に応じ事業者に対し助言等の支援を行う旨規定。	今年度も事業者が引き続き事業可能性調査を行うこととしており、動向を注視するとともに、助言等の支援を行う予定。		

No.17	◆木質バイオマス利活用の可能性の検討(再掲)	＜事業主体＞ 国	事業費	H27 予算 0 千円 H28 予算 277,010 千円
【事業概要】 災害廃棄物や間伐材等の木質バイオマスを利用したエネルギー供給事業の可能性の検討	【実施状況】 発電事業に関心のある事業者等の情報収集に努めた。 ※平成 26 年 10 月、住友林業(株)が主体となり、八戸バイオマス発電(株)及び発電の主燃料となる木質チップを製造・供給するための会社である、みちのくバイオエナジー(株)を設立。 みちのくバイオエナジー(株)は、当市河原木にチップ工場を建設する計画であり、その建設費に林野庁の間接補助事業「森林・林業再生基盤づくり交付金」を利用することとなった。	【今後の予定】 引き続き情報収集等に努める。  ※交付金の流れが、国→県→市→実施主体となるため、予算措置や要領の制定等、各種手続きを行う。 H28 年度中に交付金の交付、完工予定。		
No.18	木質ペレット利活用推進事業(再掲)	＜事業主体＞ 市	事業費	H27 決算 2,238 千円 H28 予算 3,046 千円
【事業概要】 地域の特徴を活かした低炭素型都市を目指して、ペレットストーブの普及促進を図る	【実施状況】 ◎ペレットストーブ導入に対する助成 ＜補助件数＞ 17 件 ＜補助金額＞ 2,206,000 円	【今後の予定】 事業継続実施 ＜補助件数＞20 件 ＜補助金額＞ 設置費用の 1/3 (上限 15 万円) H28 年 6 月から交付申請受付を開始。		

3. 施策を取り巻く課題や論点

◎未利用エネルギーの活用等による地域全体でのエネルギー利用の効率化 ◎再生可能エネルギーの普及拡大
--

4. 復興計画推進市民委員会意見

施策を取り巻く課題や論点に対する意見
その他自由意見

1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化	
施策名	4-(3) 災害に強い地域づくり	
施策の概要	文化・スポーツ・ボランティア	<p>〔目指す姿〕 ボランティア活動や地域づくり活動などにより復旧・復興が促進されるとともに、文化・スポーツの振興や各種イベントを通じて、復興に向けた全市的な気運の醸成が図られている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価 【設問】特色ある伝統文化や地域資源を生かして、市民の文化芸術活動やアートプロジェクトが盛んになっている。 【点数】2.6 【設問】地元スポーツチームや競技団体、大学等との連携により、市民がスポーツに親しむ環境が整っている。 【点数】2.5 【設問】町内会・自治会への加入が促進され、防犯・防災・環境美化等の地域活動が活発に行われている。 【点数】2.3</p>
	広域連携	<p>〔目指す姿〕 これまで培ってきた広域連携の実績を生かし、八戸圏域内外との連携強化により、当市並びにゆかりのある市町村の創造的復興が推進されている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価 【設問】医療・防災・観光・文化・スポーツなどの分野において、広域にわたる自治体や住民の連携・交流が盛んになっている。 【点数】2.3</p>
施策の工程		
復旧期 >>> 再生期 >>> 創造期		
H23    H24    H25    H26    H27    H28    H29    H30    H31    H32		
参考指標の動向		
○ 自主防災組織の状況		
	震災前	震災後
	H23.2月末	H24.3月末    H25.5月末    H26.7月末    H27.5月末    H28.5月末
組織数 (女性消防クラブ含む)	71団体	76団体    84団体    81団体    84団体    55団体
対象世帯数	66,899世帯	71,885世帯    84,006世帯    84,810世帯    88,509世帯    89,269世帯
組織化率	64.9%	69.3%    79.8%    79.9%    82.8%    83.2%
※組織化率 全国:81.0%(H27年4月現在)、青森県:46.5%(H28年4月現在)		



2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

① ボランティア活動の促進

No.01	◆★災害ボランティアセンターの運営内容の充実	<事業主体> 市・社会福祉協議会	事業費	H27 決算	0 千円
				H28 予算	0 千円
<p><b>【事業概要】</b> 東日本大震災をふまえた八戸市災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備やボランティアコーディネーターの育成</p>	<p><b>【実施状況】</b> H27.7 災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議（第1回）の開催 H27.8 八戸市防総合防災訓練への参加 H27.10 ボランティア・市民活動フェスティバルへの参加 H28.1 災害ボランティア展の開催 H28.3 災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議（第2回）の開催</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ・災害ボランティアセンターの運営に参加・協力する団体間の交流及び情報交換（災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議の開催） ・八戸市総合防災訓練への参加 ・災害ボランティアコーディネーターの育成（青森県防災ボランティアコーディネーター養成研修会への参加） ・災害ボランティア活動支援補助制度の検討</p>			
No.02	◆自主的な災害ボランティア活動の実践	<事業主体> 市・高等教育機関	事業費	H27 決算	0 千円
				H28 予算	0 千円
<p><b>【事業概要】</b> 市民や企業・各種団体等の自主的なボランティア活動による被災者支援及び地元大学等による災害ボランティア活動の実施</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎チーム北リアス（H23.5 発足） 実施主体：チームオール弘前、八戸工業高等専門学校、八戸工業大学、八戸市社会福祉協議会、八戸青年会議所ほか &lt;活動場所&gt; 野田村 &lt;活動内容&gt; ・被災者支援ボランティア ・学習支援ボランティア ・復興まちづくり勉強会等への参加</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 事業継続実施</p>			

②災害に強い地域づくり活動の促進

No.03	◆★災害時要援護者支援事業の推進(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H27 決算 H28 予算	874 千円 1,459 千円
【事業概要】 重度の障がい者や要援護度の高い人などの要援護者に対する災害時における支援体制の整備・推進	【実施状況】 ①災害時要援護者名簿の更新、地域支援者への名簿提供 ・災害時要援護者支援マップシステムの運用 ・民生委員や自主防災会等への名簿提供(年2回) ②自主防災会等との要援護者の支援に関する協定の締結 ③広報はちのへ等による制度周知、協定締結の呼び掛け ④救急医療情報キットの配布(高齢福祉課との連携)  ※災害時要援護者登録者数 H27.3.31 現在 4,738 人 (うちひとり暮らし高齢者 1,349 人) H28.3.31 現在 4,643 人 (うちひとり暮らし高齢者 1,417 人)	【今後の予定】 事業継続実施			
No.04	◆★災害に強い地域コミュニティづくりの推進(再掲) <b>完了</b>	<事業主体> 市・民	事業費	H27 決算 H28 予算	1,491 千円 一千円
【事業概要】 「災害に強い地域づくり会議」の開催を始めとする住民主体の地域づくり活動への支援、災害に強い地域コミュニティ計画策定への支援及び「元気な八戸づくり」市民奨励金の交付(災害に強い地域づくり応援コース)	【実施状況】 ◎「元気な八戸づくり」市民奨励金(災害に強い地域づくり応援コース)の交付 H27 年度実績 6 件  <奨励金概要> 災害に強い地域づくりを目的として地域住民が主体的に行う活動のうち、新たに取り組むもの又は従来取り組んでいた活動を拡充して実施するものが対象。1 件につき 30 万円上限(補助率 100%)。  ※H27 年度で終了	【今後の予定】 —			

No.05	◆★自主防災組織の結成促進や活動支援・リーダー育成	<事業主体> 市・民	事業費 H27 決算 12,269 千円 H28 予算 13,033 千円
<p><b>【事業概要】</b> 自主防災組織の結成・活動・リーダー育成に対する支援</p>	<p><b>【実施状況】</b>                  ◎自主防災組織の設立状況 (H28. 3. 31 現在)                  &lt;組織数&gt; 54 団体 (88,974 世帯)                  &lt;組織率&gt; 83.2% (88,974 世帯/106,985 世帯)                  ※全国 81.0% (H27. 4 現在)                  青森県 46.5% (H28. 4 現在)                  &lt;設立団体数&gt; H23 年度 7 団体 H24 年度 7 団体                  H25 年度 3 団体 H26 年度 4 団体                  H27 年度 4 団体                  ◎自主防災組織リーダー研修会                  八戸市自主防災組織リーダー研修会 (H27. 11. 24)                  ◎防災士育成補助金事業                  防災力の向上の担い手となる防災士の資格取得に要する費用の一部を補助。交付対象 47 名                  ◎八戸市自主防災組織育成事業補助金                  自主防災組織の資機材整備に要する経費へ助成                  交付金額 949 千円 (8 団体)                  ◎講師派遣                  自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会、研修会への講師派遣                  H24 年度：17 回、H25 年度：27 回、                  H26 年度：12 回、H27 年度：17 回                  ◎八戸市自主防災会連絡協議会                  ・役員会、総会開催 H28. 7 月 (予定)                  ・会報「自主防災だより」発行                  ・地域防災訓練実施の情報提供 (随時送付)</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 事業継続実施</p>	
No.06	◆海を生かした地域づくり活動の促進	完了	<事業主体> 市・民 事業費 H27 決算 0 千円 H28 予算 一千円
<p><b>【事業概要】</b> 「湊日曜朝市・海の朝市」「海フェスタ」など、市民団体やNPO等の海を生かした地域づくり活動の促進</p>	<p><b>【実施状況】</b> 東日本大震災からの復興に向けた全市的な気運の醸成を図るため、市民団体等が行う海を生かしたまちづくりに寄与するイベントに対し、助成金を交付                  &lt;助成対象団体&gt; 市内のNPO法人、市民団体 (構成員 5 人以上)                  &lt;助成額&gt; 助成対象経費の 1/2 以内 (上限 50 万円) 特に効果が高いと認められた場合は上限 100 万円                  ※H27 年度申請なし                   当該助成金制度の趣旨、これまでの実績、近年の申請状況、その他助成制度の状況等を総合的に勘案し、H27 年度をもって、当該助成金を終了した。</p>	<p><b>【今後の予定】</b> —</p>	

③文化・スポーツの推進

No.07	◆復興をテーマとするフォーラム・シンポジウムの開催	<事業主体> 県・市・高等教育機関等	事業費	H27 決算 H28 予算	0 千円 128 千円
【事業概要】 「東日本大震災復興フォーラム」、 「八戸ふるさと交流フォーラム」等の開催	【実施状況】 ◎主な開催状況 H27. 8. 30 第4回市民と一緒に考える国際防災フォーラム（主催：八戸工業大学防災技術社会システム研究センター） H28. 2. 10 東北4県・東日本大震災復興フォーラム（主催：東北4県・東日本大震災復興フォーラム実行委員会（構成団体：青森県、岩手県、宮城県、福島県）） H28. 3. 9～16 東日本大震災写真展・復興状況パネル展（主催：八戸市） H28. 3. 11 3.11 防災フォーラム2016（主催：八戸工業大学防災技術社会システム研究センター）	【今後の予定】 ・H28年度と同様のフォーラム等を開催予定。 ・市主催の復興状況市民見学会を開催する。 ◆親子対象：H28. 7. 30（2回：各回20名） ◆一般対象：H28. 9. 24、25（2回：各回20名） ◆連合町内会対象：H28. 10. 1、15、22及びH28. 11. 26（4回：各回20名程度）			
No.08	◆★復興を支援する芸術文化事業の実施	<事業主体> 市・民	事業費	H27 決算 H28 予算	700 千円 700 千円
【事業概要】 「湊橋八戸小唄まつり」等、復興を支援する芸術文化事業の実施	【実施状況】 ◎八戸小唄まつり事業補助金 「八戸小唄」の普及や伝承が期待できる事業実施団体に対し、事業実施に要する経費の一部を補助 H27年度補助実績 ・湊橋八戸小唄まつり実行委員会（500千円）（第5回湊橋八戸小唄まつり） ・さめ浜まつり実行委員会（200千円）（第16回さめ浜まつり）	【今後の予定】 事業継続実施			
No.09	◆★アートのまちづくりの推進	<事業主体> 市・民	事業費	H27 決算 H28 予算	40,884 千円 34,646 千円
【事業概要】 「南郷アートプロジェクト」等、「アート」を切り口に、地域課題の解決や、まちの活力創出につながる事業の実施	【実施状況】 ◎南郷アートプロジェクト ・ダンス公演「Dance×Jazz」 ・統廃合する学校を舞台にした映画制作 ・南郷を巡るアートツアー「なんごうあーとりっぷ」等 ◎工場アート ・八戸工場大学（講義、課外活動、工場景観マップ制作、はっち市出店等）の実施 ◎美術館 ・特別展「魔法の美術館」期間中、半券サービスを実施	【今後の予定】 ◎南郷アートプロジェクト ・H32年度の芸術祭を視野にいれた企画「なんごうをあつめる」を年間を通じて実施 ◎工場アート ・八戸工場大学（講義、課外活動、サークル活動（アートプロジェクト）の実施 ◎美術館 ・特別展の実施なし			

No.10	◆★文化財の保存・活用	<事業主体> 関係4道県・関係市町	事業費 H27 決算 2,658 千円 H28 予算 1,000 千円
<b>【事業概要】</b> 史跡、天然記念物、民俗文化財、国・県・市指定文化財等の適切な保存・管理及び積極的な活用及び是川遺跡、長七谷地貝塚を含む北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録の推進	<b>【実施状況】</b> ◎文化財の管理・活用 ・県重宝松館大慈寺山門説明板設置 ・史跡丹後平古墳群指定地コンクリート擁壁調査 ◎世界遺産登録推進 ・世界遺産縄文遺跡群フォーラム参加（10月17日弘前市） ・世界遺産登録推薦書原案作成及び提出	<b>【今後の予定】</b> ◎文化財の管理・活用 ・南郷地区の天然記念物等の既存標柱・説明板の撤去、新設予定 ◎世界遺産登録推進 ・世界遺産縄文遺跡群フォーラム参加（開催地未定） ・世界遺産登録推薦書作成及び提出	
No.11	◆★是川縄文の里の整備	<事業主体> 市	事業費 H27 決算 71,749 千円 H28 予算 73,667 千円
<b>【事業概要】</b> 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の運営及び是川遺跡の復元、縄文の森の整備等	<b>【実施状況】</b> ◎史跡是川遺跡の用地買上げ ◎史跡草刈等委託 ◎世界遺産登録推進に向けた諸会議出席 ◎保存管理計画策定委員会の開催 ◎年3回の企画展開催	<b>【今後の予定】</b> ◎史跡是川遺跡の用地買上げ ◎史跡草刈等委託 ◎世界遺産登録推進に向けた諸会議出席 ◎整備検討委員会の開催 ◎年3回の企画展開催	

No.12	◆★八戸スポーツ振興協議会の活動促進	<事業主体> その他	事業費	H27 決算 7,416 千円	
				H28 予算 8,290 千円	
<p><b>【事業概要】</b> アイスホッケーやサッカー等、当市に活動拠点のあるスポーツチームの支援による地域スポーツの振興</p>	<p><b>【実施状況】</b> 八戸スポーツ振興協議会(H21.10.5 設立/市・関係団体で構成)として、チームの知名度の向上を図る「広告宣伝事業」、市民との交流を図る「イベント支援事業」、戦績報告や情報交換を行う「会議開催事業」等の事業を行う。 ◎広告宣伝事業 ・地元新聞社で発行される特集記事に応援記事を掲載 ・地元のフリーペーパーに広告記事掲載 ・中心街(三日町・十三日町)・八戸駅へのバナーフラッグの掲出 ・市営バスを活用した広告(窓枠広告) ・市ホームページでのチーム紹介、試合日程及び結果の掲載 ・各チームの一部のアウェーゲームの際に、八戸市を紹介する観光PR冊子の配布等を行い、PR業務を委託。(東日本分のみ) ◎その他事業 ・ホームゲームに合わせ、シャトルバスの運行</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 事業継続実施 「広告宣伝」、「イベント支援」、「会議開催」等の各事業を行い、チームの知名度の向上を図るとともに、地域スポーツの振興や地域経済の活性化に努める。  (拡充) ・市営バスを活用した広告(窓枠広告、モニター広告) ・ヴァンラーレ八戸のアウェーゲームの際に、八戸市を紹介する観光PR冊子の配布等を行い、PR業務を委託。(西日本にも拡大) ・八戸市民キッズデーの開催</p>			
No.13	◆八戸市体育館の改築の検討	<事業主体> 市	事業費	H27 決算 0 千円	
				H28 予算 212 千円	
<p><b>【事業概要】</b> 防災拠点機能も有する、八戸市体育館の改築または耐震化工事の検討</p>	<p><b>【実施状況】</b> 当市と同規模の自治体による体育館の調査</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ・当市と同規模の自治体による体育館の視察 ・庁内検討会議の開催 ・外部委員を交えた検討会議の開催</p>			
No.14	◆多賀多目的運動場整備	<事業主体> 市	事業費	H27 決算 894,347 千円	
				H28 予算 2,608,921 千円	
<p><b>【事業概要】</b> 住家被害が最も大きかった多賀地区の震災復興及び活力創出を図るため、多賀地区五戸川以北の津波避難複合施設の整備と併せて、多目的運動場の整備</p>	<p><b>【実施状況】</b> H26.3 基本設計完了 H26.5 用地買収開始 H26.7 計画地の地質調査完了 H26.10 実施設計の策定(10月24日完了) H26.10 粗造成工事着工(10月28日契約) H27.2 用地買収の完了 H27.6 建築・電気・機械工事及び土木工事着工</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 施設供用開始に向けて、関係機関との連絡・調整等を行う。 H28.9 工事完了予定 H28.10 供用開始予定</p>			

④地域連携による復旧・復興

No.15	北奥羽・三陸沿岸都市への支援物資の援助	H23 完了
-------	---------------------	--------

No.16	被災地への市民病院医師等派遣	H23 完了
-------	----------------	--------

No.17	被災地への応急給水支援等	H23 完了
-------	--------------	--------

No.18	緊急消防援助隊の派遣による支援	H23 完了
-------	-----------------	--------

No.19	県外避難者の受入	<事業主体> 県・市	事業費	H27 決算	0 千円																																
				H28 予算	0 千円																																
<b>【事業概要】</b>	<b>【実施状況】</b>		<b>【今後の予定】</b>																																		
<p>県外からの避難者の当市への受入</p>	<p>◎県外避難者の状況 (H28. 3. 31 現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難者数・世帯数                             <table border="0"> <tr><td>岩手県</td><td>18 人 ( 7 世帯)</td></tr> <tr><td>宮城県</td><td>24 人 (10 世帯)</td></tr> <tr><td>福島県</td><td>122 人 (46 世帯)</td></tr> <tr><td>計</td><td>164 人 (63 世帯)</td></tr> </table> </li> <li>・居住先住宅種別                             <table border="0"> <tr><td>親戚宅・アパート等</td><td>108 人 (39 世帯)</td></tr> <tr><td>公営住宅</td><td>18 人 ( 9 世帯)</td></tr> <tr><td>青森県借上げ住宅</td><td>38 人 (15 世帯)</td></tr> <tr><td>計</td><td>164 人 (63 世帯)</td></tr> </table> </li> </ul> <p>◎県外避難者交流会の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27. 7. 18 県外避難者交流日帰りバスツアー 主催：チーム kokoro 協力：青森県、八戸市 参加者 30 名 (八戸地区) うち県外避難者 19 名</li> </ul>	岩手県	18 人 ( 7 世帯)	宮城県	24 人 (10 世帯)	福島県	122 人 (46 世帯)	計	164 人 (63 世帯)	親戚宅・アパート等	108 人 (39 世帯)	公営住宅	18 人 ( 9 世帯)	青森県借上げ住宅	38 人 (15 世帯)	計	164 人 (63 世帯)		<p>◎県外避難者の状況 (H28. 6 末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難者数・世帯数                             <table border="0"> <tr><td>岩手県</td><td>18 人 ( 7 世帯)</td></tr> <tr><td>宮城県</td><td>23 人 ( 9 世帯)</td></tr> <tr><td>福島県</td><td>100 人 (39 世帯)</td></tr> <tr><td>計</td><td>141 人 (55 世帯)</td></tr> </table> </li> <li>・居住先住宅種別                             <table border="0"> <tr><td>親戚宅・アパート等</td><td>87 人 (32 世帯)</td></tr> <tr><td>公営住宅</td><td>18 人 ( 9 世帯)</td></tr> <tr><td>青森県借上げ住宅</td><td>36 人 (14 世帯)</td></tr> <tr><td>計</td><td>141 人 (55 世帯)</td></tr> </table> </li> </ul> <p>◎県外避難者交流会の開催予定未定</p>	岩手県	18 人 ( 7 世帯)	宮城県	23 人 ( 9 世帯)	福島県	100 人 (39 世帯)	計	141 人 (55 世帯)	親戚宅・アパート等	87 人 (32 世帯)	公営住宅	18 人 ( 9 世帯)	青森県借上げ住宅	36 人 (14 世帯)	計	141 人 (55 世帯)		
岩手県	18 人 ( 7 世帯)																																				
宮城県	24 人 (10 世帯)																																				
福島県	122 人 (46 世帯)																																				
計	164 人 (63 世帯)																																				
親戚宅・アパート等	108 人 (39 世帯)																																				
公営住宅	18 人 ( 9 世帯)																																				
青森県借上げ住宅	38 人 (15 世帯)																																				
計	164 人 (63 世帯)																																				
岩手県	18 人 ( 7 世帯)																																				
宮城県	23 人 ( 9 世帯)																																				
福島県	100 人 (39 世帯)																																				
計	141 人 (55 世帯)																																				
親戚宅・アパート等	87 人 (32 世帯)																																				
公営住宅	18 人 ( 9 世帯)																																				
青森県借上げ住宅	36 人 (14 世帯)																																				
計	141 人 (55 世帯)																																				

No.20	東日本大震災被災者招聘事業	H23 完了
-------	---------------	--------

No.21	三圏域等の災害時応援協定の検証	H23 完了
-------	-----------------	--------

**3. 施策を取り巻く課題や論点**

- ◎安全・安心に向けた地域のつながりの強化
- ◎市民と行政の協働のまちづくりの推進
- ◎当市の特色ある学術・文化・スポーツの促進によるまちの活力の創出
- ◎復興に向けた新たな広域連携の創造

**4. 復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見